

シラバス

2019年度 授業の概要と授業計画

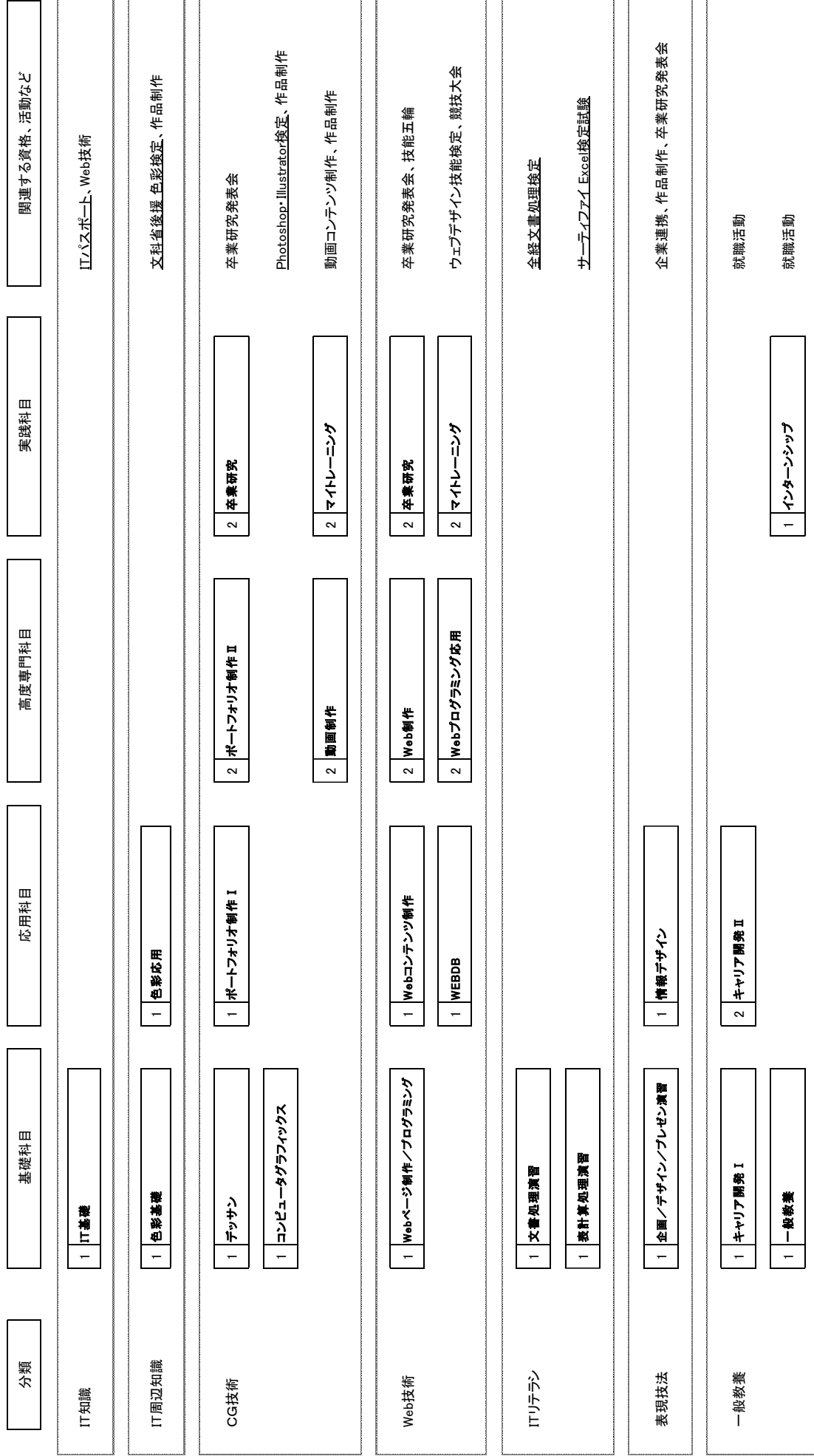
情報システム科 Web・CG デザインコース 1年

資格試験一覧

(情報システム科Web・CGデザインコース)

資格名	試験日	対象	実施するレベル	検定料金	取得ポイント
経済産業省後援 情報処理技術者試験	随時	1年	ITパスポート	5,700円	3
サーティファイ ソフトウェア活用能力認定委員会主催 PhotoShopクリエイター能力認定試験	6月中旬	1年	エキスパート スタンダード	EXP 6,900円 STD 5,900円	EXP 4 STD 2
サーティファイ ソフトウェア活用能力認定委員会主催 Illustratorクリエイター能力認定試験	9月下旬	1年	エキスパート スタンダード	EXP 6,900円 STD 5,900円	EXP 4 STD 2
サーティファイ Web利用・技術認定委員会主催 Webクリエイター能力認定試験	9月下旬	1年	エキスパート スタンダード	EXP 7,300円 STD 5,700円	EXP 4 STD 2
文部科学省後援 色彩検定	6/23(日)	1年 2年	3級	3級 7,000円	2級 4 3級 2
	11/10(日)		2級	2級 10,000円	
サーティファイ ソフトウェア活用能力後援委員会主催 Excel表計算処理技能後援試験	9月下旬	1年 3級または2級 を選択	3級	4,100円	2級 2 3級 1
	9月下旬		2級	5,100円	
全国経理教育協会主催 文書処理能力検定	11/2(土)	1年 3級または2級 を選択	3級	3,200円	2級 2 3級 1
	11/2(土)		2級	4,200円	
文部科学省後援 情報検定 情報デザイン試験(J検)	随時	希望者	上級・初級	上級 4,500円 初級 4,000円	上級 4 初級 2

情報システム科(Web・CGデザインコース) 科目関連図



情報システム科

Web・CGデザインコース 1年

1. IT基礎〔講義〕
2. CG基礎科目
 - (1) デッサン〔講義〕
 - (2) 色彩基礎〔講義〕
 - (3) 情報デザイン〔講義〕
 - (4) 色彩応用〔講義〕
 - (5) 企画／デザイン／プレゼン演習
 - (6) コンピュータグラフィックス〔演習〕
 - (7) ポートフォリオ制作Ⅰ〔演習〕
3. Web基礎科目
 - (1) Webページ制作／プログラミング〔演習〕
 - (2) Webコンテンツ制作〔演習〕
 - (3) WebDB〔演習〕
4. ITリテラシー科目
 - (1) 表計算処理演習〔演習〕
 - (2) 文書処理演習〔演習〕
 - (3) マイトレーニング〔演習〕
5. 一般教養科目
 - (1) インターンシップ〔演習〕
 - (2) 一般教養〔講義〕
 - (3) キャリア開発Ⅰ〔講義〕

※ で囲まれた科目はIT・アプリコース他との合同授業になります

科目名	IT 基礎	期間	通年
対象	高度職業実践科 1年 情報システム科 1年	授業回数	105
授業方法	講義	単位数	14
教員名	奥山幸平、藤井孝太郎、小坂幸貴	分類	実務 (プログラミング・システム設計担当)
目標	<p>ビジネスや社会の目線から、IT を捉えられるようになる。 IT リテラシーを身につける。IT パスポート試験に合格する。 得られた知識を活用してさらに高度な IT に関する知識やスキルを得るための土台とする。</p>		
概要	<p>社会人として、あるいは、IT エンジニアやデザイナーとしての業務を遂行する上で支障のないレベルの IT リテラシーを身につける。 個人が教科書等をベースに基本的な用語の意味を理解するとともに、どのような技術へと展開されているのか、グループ学習にてその関連性を探る。 また、知識の定着を確認する上で小テスト等を繰り返し実施する。</p>		
評価方法	出席状況、授業態度（参加度）、小テスト、資格検定試験の成績などの総合評価		

授業計画

(テクノロジー系)

- 1 基礎理論 (2進数、16進数について)
- 2 基礎理論 (論理演算について)
- 3 アリゴリズムの基礎 (プログラミング言語、マークアップ言語)
- 4 コンピュータシステム (入出力装置と記憶装置)
- 5 コンピュータシステム (プロセッサ、制御装置、演算装置)
- 6 ソフトウェア (オペレーティング・システム)
- 7 ソフトウェア (ファイルとパスについて)
- 8 オープンソフトウェアについて
- 9 システム構成と評価指標
- 10 マルチメディアとヒューマンインターフェース
- 11 データベースの基礎
- 12 データベースの操作方法
- 13 データベースの運用
- 14 ネットワークとは
- 15 LAN について
- 16 WAN、インターネットについて
- 17 TCP/IP について (1) IP アドレス
- 18 TCP/IP について (2) アプリケーションプロトコル
- 19 セキュリティの基本 (CIA について)
- 20 セキュリティ対策 (1) (ネットワーク関連について)
- 21 セキュリティ対策 (2) (暗号化、認証について)
- 22~40 復習・応用知識・答案練習

(ストラテジ系)

- 1 システム戦略 (1) (業務プロセスのモデル化について)
- 2 システム戦略 (2) (ソリューションビジネス、IT サービスの形態について)
- 3 システム企画 (1) (要件定義、機能要件、非機能要件について)
- 4 システム企画 (2) (調達の流れ)
- 5 経営戦略 (1) (SWOT 分析、PLC、PPM について)
- 6 経営戦略 (2) (代表的な戦略、アライアンスについて)
- 7 経営戦略 (3) (マーケティング、4つのP、4つのC)
- 8 経営戦略 (4) (販売戦略、ビジネス戦略について)
- 9 経営戦略 (5) (経営管理システムについて)
- 10 ビジネスインダストリ (1) (ビジネスシステムについて)
- 11 ビジネスインダストリ (2) (インターネットを活用したシステムについて)
- 12 企業活動 (1) (組織について)
- 13 企業活動 (2) (会計・財務について)
- 14 法務 (1) (知的財産権について)
- 15 法務 (2) (セキュリティ関連法規について)
- 16 法務 (3) (労働関連法規、取引関連法規について)
- 17 標準化について
- 18~40 復習・応用知識・答案練習

(マネジメント系)

- 1 システム開発のプロセス (1) (開発手法について)
- 2 システム開発のプロセス (2) (テストについて、バグについて)
- 3 システム開発のプロセス (3) (工数見積もりについて)
- 4 プロジェクトマネジメント (1) (プロジェクトとは、PMBOK とは)
- 5 プロジェクトマネジメント (2) (タイムマネジメント、PERT)
- 6 プロジェクトマネジメント (3) (コストマネジメント、EVM)

	<p>7 サービスマネジメント（1）（ITIL について） 8 サービスマネジメント（2）（サービスサポートについて） 9 システム監査について 10～20 復習・応用知識・答案練習</p> <p>（その他） ・最新の IT に関する技術動向、トピックスについて考察する。</p>
<p>使用教材等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よくわかるマスター 2019 年度版 IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集 ・インターネット上のリソース ・プリント等
<p>履修上の注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最新情報を得るためのチャンネルを準備し、日頃から貪欲に新用語について吸収を図ること。 ・知識定着のための、小テスト、宿題を毎回課す。

科目名	デッサン	期間	前期
対象	高度職業実践科 Web・CG クリエイター1年 情報システム科 Web・CG デザイン1年	授業回数	10
授業方法	講義	単位数	2
教員名	大川 喜代巳	分類	実務 (デザイナー)
目標	コンピュータグラフィックスを表現する上で必要となる「物を描く力」を養う。		
概要	基本形態・幾何形態の描画法、透視図法の考え方、陰影など		
評価方法	出席状況、授業態度（参加度）、作品評価などの総合評価とする。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 デッサンについて、デッサンの目的 2 デッサンの描き方や考え方 3 形の計測 4 光と影（陰影）、明暗の作り方 5 光源と面との関係、質感の表現 6 平面の基本形態（正方形・円） 7 画面の構成 8 視点と遠近法 9 デッサン実技 10 まとめ（スケッチブックの提出） 		
使用教材等	スケッチブック、鉛筆（2B、HB）、消しゴム		
履修上の注意	グループワークなどの実践演習を行います。		

科目名	色彩基礎	期間	前期
対象	高度職業実践科 Web・CG クリエイター1年 情報システム科 Web・CG デザイン1年	授業回数	15
授業方法	講義	単位数	2
教員名	米谷 久志	分類	一般
目標	色彩における基本的用語や概念の理解、配色、色彩調和について学習し、色彩検定の合格を目標とする。		
概要	色の表示方法、光と色の見え、色の持つ心理的・視覚効果、色彩調和などについて学習する。		
評価方法	授業態度（参加度）、実践演習、検定結果などの総合評価		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 色彩の働き 2 色の表示 3 色の3属性と色立体、マンセル表色系 4 PCCS、色名と慣用色名 5 光と色 6 眼のしくみ 7 色の見え、照明、混色 8 色彩心理 9 色の心理的効果、視覚効果 10 色彩調和 11 配色の考え方（色相別、トーン別、明度別、彩度別） 13 ファッションと色彩 14 インテリアと色彩 15 環境色彩 16 色彩検定対策① 17 色彩検定対策② 18 色彩検定対策③ 19 色彩検定対策④ 20 色彩まとめ 		
使用教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩検定 公式テキスト 3級編 (A・F・T 企画) ・色彩検定 過去問題集 2018年度2・3級 (A・F・T 企画) 		
履修上の注意	デザイン以外の分野においても役立つ知識なので、積極的に理解を深めてもらいたい。		

科目名	情報デザイン	期間	前期
対象	高度職業実践科 Web・CG クリエイター1年 情報システム科 Web・CG デザイン1年	授業回数	15
授業方法	講義	単位数	2
教員名	米谷 久志	分類	一般
目標	情報社会で問題解決を行う上での基礎的能力を向上する。		
概要	情報の収集をはじめ、分析力、発想・企画力、編集・表現力などの情報を伝える能力（コミュニケーションスキル）についてグループワーク等を通して学ぶ。		
評価方法	授業態度（参加度）、課題の提出、プレゼンテーションなどの総合評価		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報デザインの考え方 2 情報とモラル 3 情報の収集と整理 4 調査の考え方、調査方法、分析と整理 5 グループワーク① 6 問題解決と発想（問題解決の考え方） 7 問題解決と発想（問題解決手法） 8 グループワーク② 9 情報の構造化 10 情報表現の手法 11 グループワーク③ 12 情報の伝達 13 評価とフィードバック 14 グループワーク④ 15 情報デザインまとめ 		
使用教材等	・改訂版 J検情報デザイン完全対策公式テキスト		
履修上の注意	積極的に授業参加し、理解を深めてもらいたい。		

科目名	色彩応用	期間	後期
対象	高度職業実践科 Web・CG クリエイター1年 情報システム科 Web・CG デザイン1年	授業回数	30
授業方法	講義	単位数	4
教員名	米谷 久志	分類	一般
目標	色彩における基本的用語や概念の理解、配色、色彩調和について深く学習し、色彩検定の合格を目標とする。		
概要	色彩基礎で学習した内容に加え、照明、色名、表色系、配色技法、配色イメージ、ビジュアルデザインなどについて学習する。		
評価方法	出席状況、授業態度（参加度）、検定取得状況などの総合評価		
授業計画	1 生活と色 2 光の性質と色、視覚系の構造、照明 3 色の表示、マンセル表色系、色名 4 色彩調和、自然から学ぶ配色 5 配色技法、ベースカラーによる色彩調和 6 配色イメージ 7 配色演習① 8 配色演習② 9 配色演習③ 10 ビジュアルデザインと色彩 11 ファッションと色彩 12 プロダクトデザインと色彩 13 インテリアデザインと色彩 14 エクステリア環境と色彩 15 色彩検定対策① 16 色彩検定対策② 17 色彩検定対策③ 18 色彩検定対策④ 19 色彩検定対策⑤ 20 色彩まとめ		
使用教材等	・色彩検定 公式テキスト 2級編 (A・F・T 企画) ・色彩検定 過去問題集 2018年度2・3級 (A・F・T 企画) ・新配色カード 199a		
履修上の注意	デザイン以外の分野においても役立つ知識なので、積極的に理解を深めてもらいたい。		

科目名	企画／デザイン／プレゼン	期間	前期
対象	高度職業実践科 Web・CG クリエイター1年 情報システム科 Web・CG デザイン1年	授業回数	15
授業方法	講義	単位数	2
教員名	米谷 久志 他	分類	実務 (デザイン業務)
目標	情報社会で問題解決を行う上での基礎的能力を向上する。		
概要	アイデアの出し方、デザインの作り方、プレゼンテーション技法などグループワーク等を通して学ぶ。		
評価方法	授業態度（参加度）、課題の提出、プレゼンテーションなどの総合評価		
授業計画	1 デザインの基本 2 レイアウト 3 配色 4 写真と図版 5 タイポグラフィ 6 制作の基礎知識 7 企画① 8 デザイン① 9 プレゼンテーション① 10 振り返り① 11 企画② 12 デザイン② 13 プレゼンテーション② 14 振り返り② 15 まとめ		
使用教材等	デザインの基本ノート（SBCreative）		
履修上の注意	積極的に授業参加し、理解を深めてもらいたい。		

科目名	コンピュータグラフィックス	期間	前期
対象	高度職業実践科 Web・CG クリエイター1年 情報システム科 Web・CG デザイン1年	授業回数	4 5
授業方法	演習	単位数	4
教員名	米谷 久志	分類	一般
目標	1 「Adobe Photoshop」、「Adobe Illustrator」の操作技術習得 2 サーティファイクリエイター能力認定試験の合格		
概要	フォトタッチソフトの基本操作、画像編集およびテクニックとドロー系ソフトの特徴であるパスを使った描画方法の理解。		
評価方法	授業態度（参加度）、制作課題の提出、検定試験の成績などの総合評価		
授業計画	1 コンピュータグラフィックスについて、学習の流れ 2 Photoshop の基本操作（画面構成、レイヤーの概念等） 3 各種ツールの使用方法①（選択系ツール） 4 各種ツールの使用方法②（文字ツール） 5 各種ツールの使用方法②（ペイント系ツール） 6 色調補正①（明るさ・コントラスト、色相・彩度） 7 色調補正②（トーンカーブ、レベル補正等） 8 レイヤー（レイヤーとチャンネルの仕組み） 9 アルファチャンネル・レイヤーマスク 10 描画モード・レイヤー効果 11 エフェクト（パターン、特殊効果、フィルタ） 12 Photoshop 検定対策① 13 Photoshop 検定対策② 14 Photoshop 検定対策③ 15 Photoshop 検定対策④ 16 Illustrator の基本操作 17 各種ツール、ウィンドウ、設定 18 基本図形の描画 19 パス以外のオブジェクト生成について 20 塗りと線（オブジェクトの塗り、線設定について） 21 パスの描き方と変形（パスの描画および編集について） 22 パターン、スッチ、パターンブラシ作成 23 グラフの作成（デザインを利用したグラフの作成） 24 アピアランス設定 25 Illustrator 検定対策① 26 Illustrator 検定対策② 27 Illustrator 検定対策③ 28 Illustrator 検定対策④ 29 コンピュータグラフィックスまとめ① 30～44 課題制作 45 コンピュータグラフィックスまとめ②		
使用教材等	・ Photoshop クイックマスターCC Windows&Mac（ウイネット） ・ Illustrator クイックマスターCC Windows&Mac（ウイネット）		
履修上の注意	今後の制作においても使用頻度の高いソフトなので、一つ一つの操作を確実に理解してもらいたい。		

科目名	ポートフォリオ制作 I	期間	後期
対象	高度職業実践科 Web・CG クリエイター 1 年 情報システム科 Web・CG デザイン 1 年	授業回数	4 5
授業方法	演習	単位数	4
教員名	米谷 久志 他	分類	実務 (デザイン業務)
目標	1 作品制作における各工程の理解 2 状況に応じ、各種アプリケーションを使いこなし作品を制作する		
概要	個人またはグループ単位に作品制作、企業との連携による制作活動を行う。		
評価方法	作品の制作工程管理、プレゼンテーション、成果物などの総合評価		
授業計画	<p>1 概要説明</p> <p>2～4 4 作品制作 (制作例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業広告（ポスター・チラシなど）の作成 ・各種コンテストへの作品応募 ・自由制作 <p>※制作物は作品集（ポートフォリオ）として収集する ※制作ごとに成果物プレゼンテーションを実施する</p> <p>4 5 ポートフォリオ提出</p>		
使用教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・Photoshop 10 年使える逆引き手帖（SBCreative） ・Illustrator 10 年使える逆引き手帖（SBCreative） 		
履修上の注意	複数の作品制作が同時進行するため、日程計画をきちんと立て、進捗を確認しながら作業を進めること。		

科目名	Web ページ制作／プログラミング	期間	前・後期
対象	1年高度職業実践科 WebCG クリエイター 1年情報システム科 WebCG デザイン	授業回数	60
授業方法	演習	単位数	4
教員名	黒澤 勝	分類	実務
目標	企業のウェブサイトを構築したり、SNS といったサービスを生み出すための Web 技術の基礎を学ぶ。		
概要	HTML 5 と CSS 3 を中心に学習し、PC とスマートフォンに対応したレスポンシブウェブデザインサイト制作を目指す。JS をつけたギミックをサイトに実装する。		
評価方法	出席状況、授業態度（参加度）、宿題提出状況、実践演習などの総合評価		
授業計画	01 : Web ブラウザ・テキストエディタ HTML と CSS と JavaScript のヒストリー周辺知識 02 : HTML5 での要素の用途 インライン要素とブロック要素の使い分け 03-06 : HTML 演習 07 : CSS3 の使い方 主にインライン要素の使い方 08-11 : CSS 演習 12-15 : JavaScript (DOM) 処理 16-20 : レイアウト構築 (HTML+CSS) テンプレートを使ってレイアウト演習 21-30 : サイト構築演習 グループでサイト構築 31-35 : レスポンシブレイアウト対応 最小 320px 幅でのサイトレイアウト構築 メディアクエリの理解 36-40 : スマートフォンサイト構築 モバイルファーストで制作 41-45 : フォームを使った UI 処理 45-55 : JavaScript を使ったギミックや JSON 処理 55-60 : 総合演習		
使用教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・一冊ですべて身につく HTML&CSS と Web デザイン入門講座 ・スラスラ分かる JavaScript ・できるポケット HTML5&CSS3/2.1 全事典 		
履修上の注意	英単語を中心とした入力速度が重要な要素となるのでタイピング練習をしておくこと		

科目名	Web コンテンツ制作	期間	後期
対象	1年高度職業実践科 Web・CG クリエイター 1年情報システム科 Web・CG デザイン	授業回数	45
授業方法	演習	単位数	3
教員名	黒澤 勝	分類	実務
目標	WEB ページ制作と連携した WEB 系コンテンツの作成をメインに行う。CSS3 や動画コンテンツの埋め込みなどの応用も行う。		
概要	Web ページ制作で学習したものをサイト制作に活かし、Web コンテンツを演習の中で生み出していく。画像や動画も扱うので総合的な演習となる。		
評価方法	出席状況、授業態度（参加度）、宿題提出状況、実践演習などの総合評価		
授業計画	<p>CSS3</p> <p>01-04 : CSS スプライト技術</p> <p>05-06 : CSS3 と SVG, base64 を利用した圧縮と暗号化</p> <p>07-21 : RWD (レスポンシブ WEB デザイン)</p> <p>22-33 : HTML5 マークアップおよび CSS レイアウト演習</p> <p>JavaScript</p> <p>34-37 : HTML5 の機能を使った API イベントハンドラ(JS)</p> <p>38-40 : JS を使った SPA (シングルページアプリケーション) 処理</p> <p>Media</p> <p>40-41 : 画像、動画コンテンツ埋め込み(VIDEO)</p> <p>42-45 : 総合演習</p>		
使用教材等			
履修上の注意	Web ページ制作の基礎的な知識が前提となります。		

科目名	WebDB	期間	前・後期
対象	1年高度職業実践科 WebCG クリエイター 1年情報システム科 WebCG デザイン	授業回数	30
授業方法	演習	単位数	2
教員名	小坂 幸貴	分類	実務 (Web サイト DB 保守経験)
目標	データベースを操作する SQL を読み書きできる。また、データベースと連携した Web ページを PHP 言語で作成できる。		
概要	Web ページを身近なもの(SNS システム)と関連付けて、DB の役割、操作、活用方法を学ぶ。		
評価方法	出席状況、授業態度 (参加度)、宿題提出状況、実践演習などの総合評価		
授業計画	<p>1. DB の基礎知識</p> <p>2. 開発環境を用意 VirtualBox + vagrant + ブラウザ (Google Chrome と Firefox)</p> <p>① MariaDB</p> <p>② PHP</p> <p>③ phpMyAdmin</p> <p>3. DB・テーブル・ユーザを作成</p> <p>4. SQL の基本 (文・句・識別子・デリミタ)</p> <p>5-7. SELECT 文 - データを取得する</p> <p>8. SELECT 文応用 - サブクエリ</p> <p>9-10. INSERT 文 - データを追加する</p> <p>11-12. DELETE - データを削除する</p> <p>13-14. UPDATE - データを更新する</p> <p>※. 以下、Web ページのフォームを作成する前提で進行</p> <p>15-17. PHP の基本構文</p> <p>18. デバッグの基本テクニック</p> <p>20-21. 連想配列</p> <p>22. PDO</p> <p>23-25. DB と連携するページ作成</p> <p>26. SQL インジェクション攻撃とプリペアドステートメント</p> <p>27-30. 総合演習</p>		
使用教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・30時間アカデミック PHP 入門 (実教出版) ・プリント 		
履修上の注意	HTML5+CSS3 での Web ページが作成できることを前提とする。 ほぼ毎回宿題を出すので必ず〆切までに提出すること。		

科目名	表計算処理演習	期間	前期
対象	1年高度職業実践科 1年情報システム科	授業回数	20
授業方法	演習	単位数	1
教員名	小坂 幸貴	分類	実務 (VBA マクロ作成)
目標	Excel2016 の基本機能を使いこなす力を身につける。 サーティファイ主催 Excel 表計算処理技能認定試験 3 級に合格する。		
概要	Excel2013 の基礎となる操作を学習する。 サーティファイ認定試験合格のための対策を行う。		
評価方法	出席状況、授業態度（参加度）、宿題提出状況、検定の可否などを総合的に評価する。		
授業計画	1 Excel2016 の起動と終了、保存、各部の名称 2 - 3 入力、数式 4 - 5 セルに対する捜査 6 - 7 SUM、AVERAGE、MAX、MIN、COUNT、COUNTA 8 印刷設定 9 - 10 ROUND、ROUNDUP、ROUNDDOWN 11 - 12 グラフ基本 13 - 14 並べ替え、抽出 15 - 16 RANK.EQ 17 - 20 検定対策		
使用教材等	・30 時間でマスター Excel2016（実教出版） ・プリント		
履修上の注意	毎回、宿題を課すので必ず提出すること。		

科目名	文書処理演習	期間	通年
対象	高度職業実践科1年 情報システム科1年	授業回数	20
授業方法	演習	単位数	1
教員名	杉山 和久子	分類	実務 (パソコンインストラクター)
目標	タッチタイピング技能を習得。全国経理教育協会主催 文書処理能力検定試験1・2級の合格をめざす。		
概要	Word2016の基本操作を習得し、実務に役立つビジネス文書や表・図などを取り入れた文書作成を身につける。ワープロ機能に関する基礎知識も覚えること。		
評価方法	出席状況、課題の提出、検定結果などの総合評価とする。		
授業計画	1～2 Word 入門 Word2016の画面構成、文字の入力、文章の入力、特殊な入力方法 3 文書の作成 書式設定、保存と読み込み、文書の印刷 4 文字の複写、削除、移動 5～6 Wordの活用 編集機能、表の作成と編集 7 画像・テキストボックスの挿入 8～9 画像の利用、ワードアート、図形描画 10～12 スマートアート、段組み・ドロップキャップ・ページ罫線 13～14 Wordの応用 はがき作成 差し込み印刷 グラフの挿入 15～20 文書処理能力検定試験対策 ビジネス文書作成、図形を挿入した文書作成 ワープロ機能基礎知識、国語力 入力（10分間 500字～700字）		
使用教材等	・30時間でマスター Word2016（実教出版） ・文書処理能力検定試験 最新過去問題集（全国経理教育協会）		
履修上の注意	文書の形に慣れ、文書処理に関する通常的な実務知識を理解する。 基本的なビジネス文書のルールを理解し（社内・社外）文書に慣れること。		

科目名	マイトレニング	期間	前期
対象	高度職業実践科 Web・CG クリエイター1年 情報システム科 Web・CG デザイン1年	授業回数	30
授業方法	演習	単位数	2
教員名	米谷 久志、黒澤 勝、他	分類	一般
目標	習得したツールや技術などを組み合わせ、実務的で効率のよい演習を繰り返すことで熟練度の向上を図る。		
概要	個人で検定試験合格や競技大会出場、コンテスト入賞など目標設定し、伸ばしたいスキルを磨く。		
評価方法	授業態度（参加度）、制作工程管理、プレゼンテーション、成果物などの総合評価		
授業計画	1 概要説明 2 目標設定 3～ 自主学習 （学習テーマ例） ・検定試験合格対策 ・コンテストへの作品応募 ・企業連携制作 28 成果物まとめ 29 プレゼンテーション 30 振り返り		
使用教材等	なし（適宜必要なマニュアルやテクニックを自分で調べる）		
履修上の注意	成果物の提出期限を厳守すること。スケジュールの見直しが必要な場合は必ず担当教員と相談すること。		

科目名	インターンシップ	期間	後期
対象	情報システム科1年 高度職業実践科1年	授業回数	30
授業方法	実習	単位数	4
教員名	奥山 幸平	分類	実務 (技術職/教育担当)
目標	企業で働くことを体験することで、現場で求められる知識とスキル、仕事の進め方を肌で感じ、共同で仕事を進める際の意識統一、意思疎通、「報連相」の重要性を理解し、キャリアアップに役立てる。		
概要	IT業界の企業において約2週間の実習を行う。実習を行う準備として、企業研究、社会人としてのマナー、専門職として働くための最低限のIT知識・スキルを身につける。		
評価方法	出席状況・授業態度、企業からの評価、課題提出などの総合評価		
授業計画	<p>1～4 業界研究、企業研究</p> <p>5～10 社会人としてのマナー ・挨拶、敬語、服装、名刺交換、電話対応 ・報連相について ・IT知識・スキルの確認</p> <p>11～14 企業との折衝、書類作成・申請 ・実習内容の確認</p> <p>15～25 企業実習（インターンシップ）</p> <p>26～30 実習内容の報告 ・成果物の確認・評価 ・自己評価、礼状作成、振り返り ・報告書等の作成</p> <p>※ インターンシップ終了後、学内にて成果発表会を実施する。</p>		
使用教材等	・プリント等		
履修上の注意	実習先では実際の仕事のつもりで臨み、遅刻や無断欠勤は絶対しないこと。なお、実習先企業は限られているため、希望通りにならないこともある。		

科目名	一般教養	期間	通年
対象	高度職業実践科/情報システム科 1年	授業回数	30
授業方法	講義	単位数	2
教員名	藤井 孝太郎、米谷 久志	分類	一般
目標	社会人として、また ICT(情報通信技術)人材として基礎となる一般教養を身につける。		
概要	国語、数学、英語、情報に関して、特に ICT 業界に進む人材にとって必要な知識、教養を身につける。漢字の書き取り、英単語スペルについては継続的に行う。また、文書処理能力検定の対策を行う。		
評価方法	出席状況、授業態度（参加度）、期末試験結果などの総合評価		
授業計画	<p>※一般教養は半コマ単位で授業を行い、毎時間 5 分程度の漢字、英単語練習を行う。</p> <p>1 概要説明、事前学習内容の確認 2 文章読解① 3～4 Windows の基礎、操作、ファイルとパス 5～6 インターネットの活用、検索の仕方 7～8 メールアドレスの取得とメール送受信、メールマナーについて 9 キーボードの記号、ローマ数字、ギリシャ文字、文字化けについて 10 文章読解② 11 割合計算、速度計算 12 平均値、期待値、確率 13 単位、指数表記 14 数の比較、真理値、論理 15 文章読解③ 16～21 文書処理能力検定対策(文書作成・タイピング練習) 22 文章読解④ 23～26 ICT 技術に特有の用語 27～29 ICT 業界で使用される用語 30 文章読解⑤</p>		
使用教材等	・プリント		
履修上の注意	自ら予復習、反復練習を行うこと。苦手な分野であっても根気よく続けること。易しい内容であっても手を抜かないこと。		

科目名	キャリア開発 I	期間	通年
対象	1 年全学科	授業回数	10
授業方法	講義	単位数	1
教員名	佐々木啓子 他	分類	実務 (企業人事担当)
目標	自らのキャリアを主体的に捉え、働くために必要な能力について意識し、社会人、企業人として求められる人材能力を高める。		
概要	地域や社会で活躍する企業担当者・卒業生等を講師に迎え、社会人・企業人にとって必要なコミュニケーションスキルを、実践を通して身につける。		
評価方法	出席状況、授業態度（参加度）、実践演習などの総合評価		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 コミュニケーションの目的・重要性 2 基本要素 ・あいさつ ・言葉づかい ・話し方、表情、ジェスチャー 3 状況別のコミュニケーション ・職場でのコミュニケーション ・電話 4 人間関係を作るためのトレーニング（1） ・意思疎通 ・協調性 ・自己表現能力 5 人間関係を作るためのトレーニング（2） ・電話対応の基本 ・面接対策 ・職業人講話 6 就職活動対策（1） 「就職活動の進め方」 7 就職活動対策（2） 「職業人講話」 8 就職活動対策（3） 「ビジネスマナーと電話対応の基本①」 9 就職活動対策（4） 「ビジネスマナーと電話対応の基本②」 10 就職活動対策（5） 「労働法について・面接対策」 		
使用教材等	・プリント等		
履修上の注意	グループワークなどの実践演習を行います。		